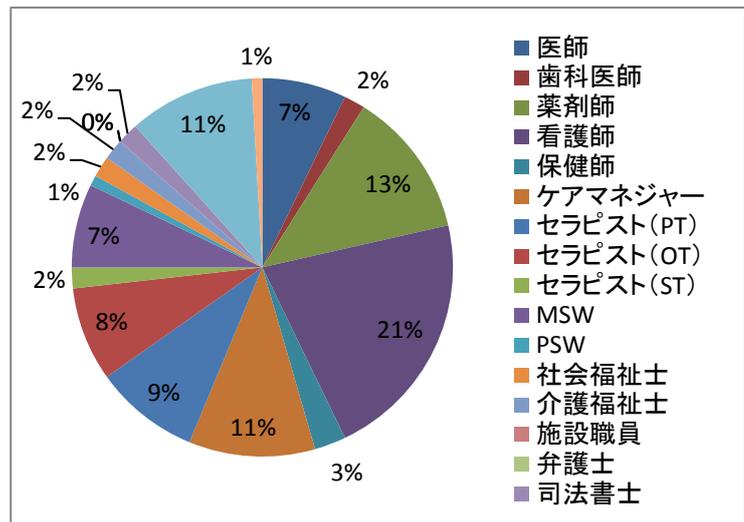


平成28年度香椎原病院・福岡東在宅ケアネットワーク・東区医師会・福岡市東区保健福祉センター共催
症例検討会 アンケート結果

日時 平成28年6月30日(木) 19時00分
場所 東区保健福祉センター 1階 講堂
出席者 118名
アンケート回答者 112名

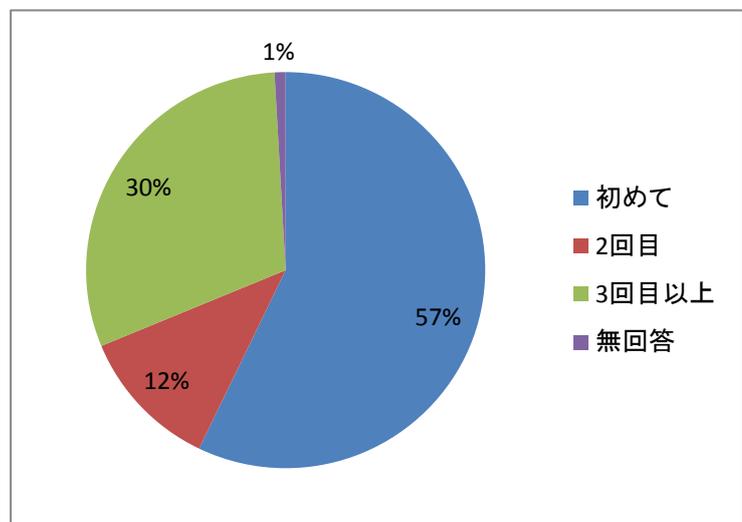
1. あなたの職種を教えてください。

医師	8	7%
歯科医師	2	2%
薬剤師	14	13%
看護師	24	21%
保健師	3	3%
ケアマネジャー	12	11%
セラピスト(PT)	10	9%
セラピスト(OT)	9	8%
セラピスト(ST)	2	2%
MSW	8	7%
PSW	1	1%
社会福祉士	2	2%
介護福祉士	2	2%
施設職員	0	0%
弁護士	0	0%
司法書士	2	2%
その他	12	11%
無回答	1	1%



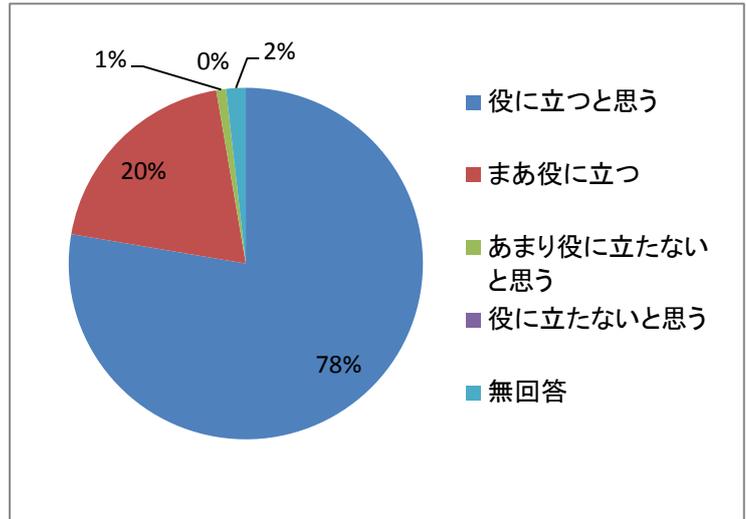
2. 当ネットワークが主催する症例検討会への参加は、何回目ですか？

初めて	64	57%
2回目	13	12%
3回目以上	34	30%
無回答	1	1%



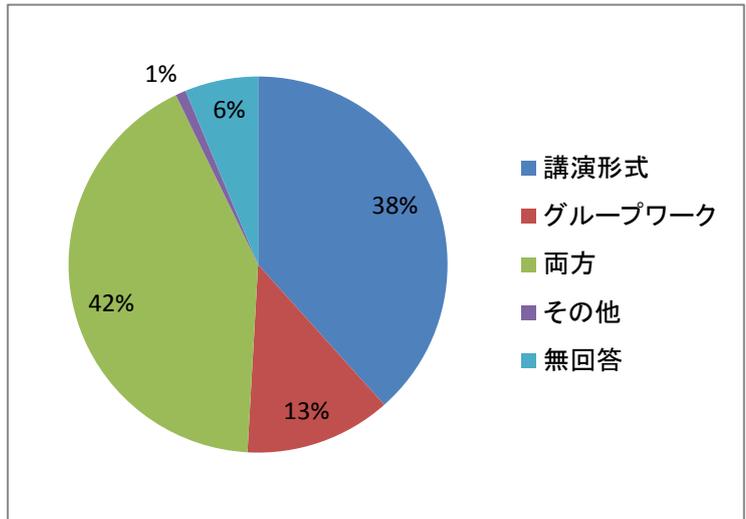
3. 今回の事例は、今後の業務に役立ちそうですか？

役に立つと思う	87	78%
まあ役に立つ	22	20%
あまり役に立たないと思う	1	1%
役に立たないと思う	0	0%
無回答	2	2%



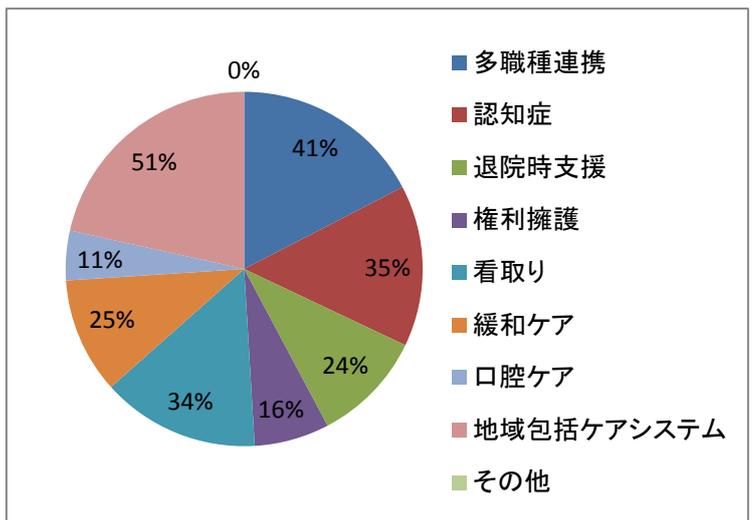
4. 症例検討会の形態についてご希望を回答下さい。

講演形式	43	38%
グループワーク	14	13%
両方	47	42%
その他	1	1%
無回答	7	6%



5. 今後、取り上げて欲しいテーマについてご回答下さい。(複数選択可)

多職種連携	46	41%
認知症	39	35%
退院時支援	27	24%
権利擁護	18	16%
看取り	38	34%
緩和ケア	28	25%
口腔ケア	12	11%
地域包括ケアシステム	57	51%
その他	0	0%



6. 感想等を自由にご記入下さい。

①	幸せマップはとても参考になりました。とても大切な取り組みだと思いました。(看護師)
②	香椎原HP回復期病棟の取り組みは素晴らしかった。(ケアマネジャー)
③	本日はありがとうございました。幸せマップを参考にケースに介入したいと思います。(MSW)
④	重度介護者の在宅支援の関わってこられた方々の苦労話も聞けて今後の業務の参考になりました。ありがとうございました。(ケアマネジャー)
⑤	幸せマップや多職種連携のお話の中で出てきた「本人に寄り添う」ということは、成年後見人等で本人の支援にあたる司法書士にとっても通じるものがあると思いました。特に幸せマップの情報は、どうしても後から本人支援の輪に入っていくことが多い成年後見人にとっては、共有させていただければ本人とのコミュニケーションに大変有益なのではないかと思うとともに、本人支援の輪に入っていければと思いました。本日はありがとうございました。(司法書士)
⑥	薬局に勤めていますが、退院後の支援にもっとかかわっていけたらいいなと思っています。薬局ではどのように治療・ケアをされているかがうまく把握できていない場合があります。入院時や退院後の生活がどうなっているのか、もっとふみこんでいきやすい社会の流れを期待します。(薬剤師)
⑦	香椎原病院の取り組み「幸せマップ」とても素晴らしいと思いました。退院後の幸せを考えられていてうれしく思いました。とても参考になりました。喉頭気管分離術を知り知識を得ました。(看護師)
⑧	地域に戻ってからの生活の質の大切さを感じる事が出来ました。幸せマップを活用させて頂き施設で共通の幸せを考えたいと思います。
⑨	当グループホームでも、センター方式の情報シートを作り「幸せマップ」のような利用者様のニーズに寄り添うケアに努めています。グループホームは認知症の方のための施設ですが、在宅あつかいの施設です。回復病棟でのリハビリメニュー等、参考にして利用者様の生活の質を高めていきたいと思えます。(グループホーム管理者・計画作成担当者)
⑩	幸せマップは視覚的にも患者さんの情報を把握するのに有用だと思いました。ぜひ、薬局業務でも活用したいと思えます。(薬剤師)
⑪	TCMの話聞き、幸せマップのようなシートが様々な場で活用出来ると良いなと思いました。(OT)
⑫	ありがとうございました。(ST)
⑬	困難な患者さんの在宅医療への取り組み(多職種連携)「幸せマップ」の紹介が参考になりました。(医師)
⑭	幸せマップの取り組みについて、とても本人・家族にとって良い取り組みと思いました。(PSW)
⑮	幸せマップ 素敵でした。(PT)
⑯	在宅生活において、本人も家族もサービス担当者も目標をもってサービスしていけるよう、幸せマップ、活用させていただきたいと思えます。ありがとうございました。(看護師)
⑰	権利擁護というと、必ず財産侵害や認知症の方の意思決定、成年後見制度の話になってしまいます。家族のいない独居の方や障害を持った方も在宅での生活を望んでおり、その支援を行うことに日々努力しています。家族のいない方の医療介護の方たちとの連携ができればいいと思えます。(司法書士)
⑱	幸せマップ、とても素敵な取り組みですネ。在宅でもアレンジして使えれば、その方の望むことが支援しやすいと考えました。(看護師)

	<p>2. 事例報告について・・・ 今回の結果で幸せになった方は誰なのでしょう？就労中の長男は、今何をしているのでしょうか？働いていますか？自営は閉めて、生活はなりたっているのでしょうか？医・介の自己満足になっていないのか？もしくは家族の言いなりになっていないか？検討なのか報告なのか、もっと議論してほしい。</p> <p>3. 幸せマップについて・・・ PDCAは、とても重要だと思います。PDCまでは出来ていると思いますが、Aの部分をもっと積極的に行ってほしい。その成果も教えてほしい。OT大事の話が最高でした！</p> <p>4. コメントについて・・・ 世情がよく分かりました。東区が福岡市を引っ張っていけるように皆で頑張りましょう！</p> <p>5. 運営の皆様・・・ いつもご苦労様です。業務外にも関わらず一生懸命取り組む姿に敬意を表します。(介護福祉士・その他)</p>
⑱	幸せマップが共通に使用できるようになるといいと思いました。(ケアマネジャー)
㉑	在宅でのケアがあって、医療が成り立っていると考えた。MSWとして出来ることを考えていきたい。(MSW)
㉒	症例の報告時に、A病院・B施設などと、名前を隠す必要があるのでしょうか？東区内のクローズドなものでもあり、病院や施設の情報も聞きたいのですが・・・。
㉓	とても参考になりました。アセスメント→モニタリングの重要さを改めて感じました。“幸せマップ”はとてもよかったです。勉強になりました。本日はありがとうございました。(福祉用具業者)
㉔	大変勉強になりました。東区の施設にはあまりなじみがないのですが、活発な活動をされていることに刺激を受けました。(看護師)
㉕	いろいろな取り組みを教えていただき、大変参考になりました。ありがとうございました。(看護師)
㉖	OTは人と生活を見るプロフェッショナルであり、人や生活を見る点で、幸せマップは有効であると思いました。幸せマップを使用することで、その人にとっての意味のある作業、意味のある生活につながると思いました。(OT)
㉗	「幸せマップ」活用したいです。患者・利用者のことをもっと知ることこそが、寄り添う心につながるケアの在り方になるという事を再確認できました。また、やはり、多職種連携の大切さも改めて感じました。(看護師)
㉘	患者、家族中心性という視点(評価点)が重要と思います。(歯科医師)
㉙	訪問歯科でのかわかりがほとんどですが、大変勉強になりました。(歯科医師)
㉚	“幸せマップ”の可能性をすごくかんじました。今日はありがとうございました。(社会福祉士)
㉛	他の病院はどの様な情報ツールを使っているのか等情報交換したらよい。会場を巻き込んだディスカッションがもう少し出来たらよい！(看護師)
㉜	「幸せ」を目標にすることは、人として本来の姿だと思います。寄り添い、あたたかい関わりが見えるようでした。お疲れ様でした。(看護師)
㉝	お疲れ様でした。(介護福祉士)
㉞	幸せマップは人が人を理解するのに有効なツールだと思いました。(OT)
㉟	若い方の支援の難しさを感じた。ご家族の強い希望や要望などが在宅チームにダイレクトに言われる為、支援する人達と家族と一緒に考えて解決することがとても大切だと感じました。家族はいつまでも治るとおもっているんだなあと感じた症例でした。(看護師)
㊱	幸せマップはとても良い取り組みだと思いました。本日は、ありがとうございました。(事務)